



神奈川県

KANAGAWA

令和7年度

要覧



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

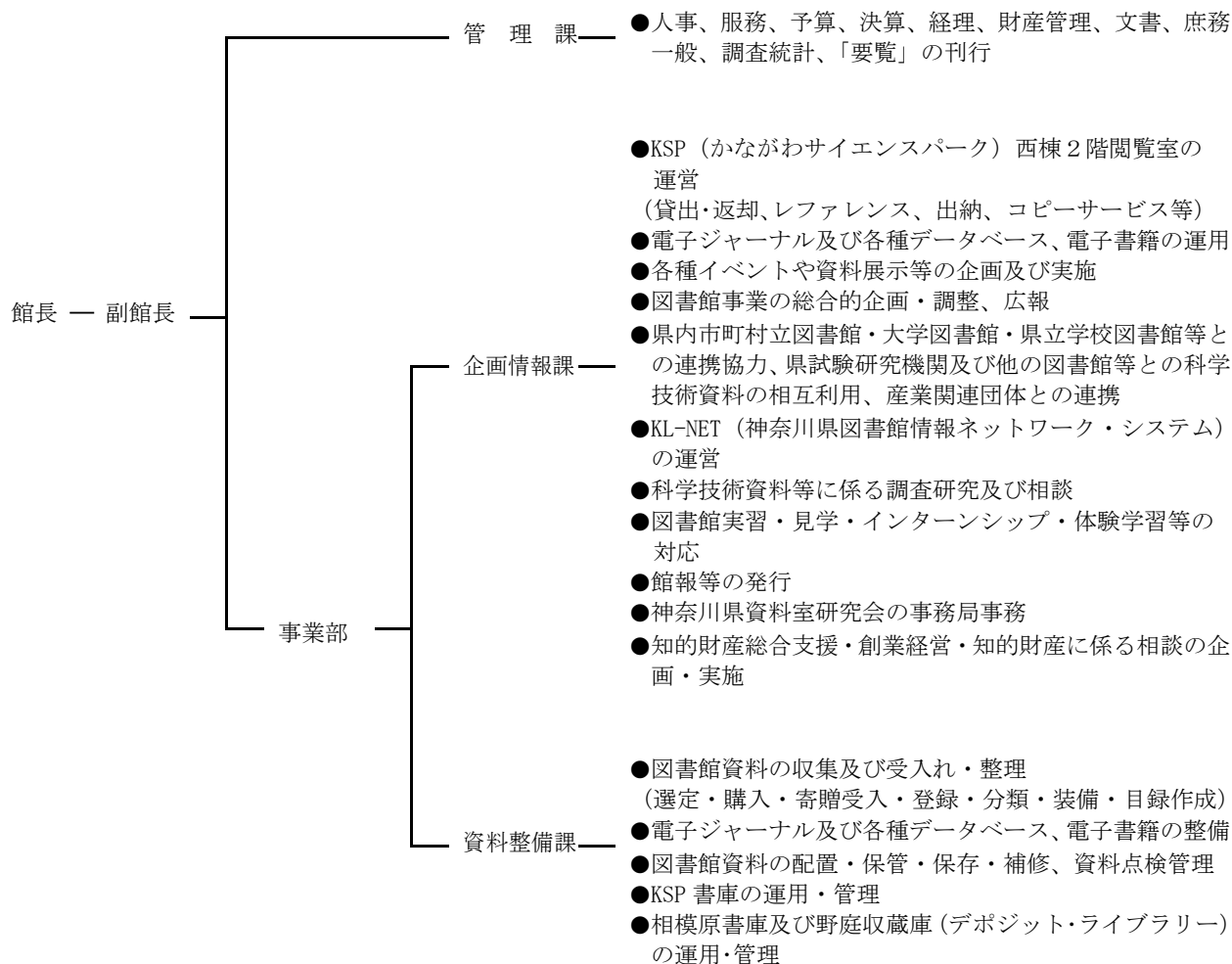
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

目 次

1	組織	1
2	沿革	2
3	施設の概要	4
4	令和7年度 県立川崎図書館の取組み	5
5	令和7年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	9
6	予算・決算	10
7	令和6年度 事業の概況	12
8	令和6年度 講座等実施状況	24
9	令和6年度 県立川崎図書館の活動評価	29
事 業 統 計（令和6年度）		
第1表	部門別蔵書冊数	34
第2表	逐次刊行物保有状況	34
第3表	その他資料の保有状況	34
第4表	電子書籍・電子ジャーナル等の提供状況	34
第5表	開館日数・入館者数	35
第6表	レファレンス件数	35
第7表	書庫内資料の利用数	36
第8表	電子書籍、電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	37
第9表	個人貸出登録者数	37
第10表	個人貸出冊数	38
第11表	リクエストサービス	38
第12表	複写サービス	39
第13表	講習会・講座・講演会等	39
第14表	知的財産関連等相談	40
第15表	視聴覚資料の貸出状況	41
第16表	他の図書館等への貸出状況	41
第17表	年度別蔵書冊数	42
第18表	年度別入館者数・個人貸出冊数	42
館内案内図		43

1 組織 (令和7年4月1日現在)

(1) 組織図



(2) 職員の構成

		館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任司書	主事	司書	小計	臨時司書	会計年度任用職員	合計	備考
館長・副館長		1	1								2			2	
管理課					*	1			3		4		1	5	*副館長が管理課長職を兼務
事業部	企画情報課			1	1		2	2		3	9	2	14	25	部長を含む
	資料整備課				1	1	1			1	4	1	7	12	
	部計			1	2	1	3	2		4	13	3	21	37	
合計		1	1	1	2	2	3	2	3	4	19	3	22	44	
司書有資格者数				1	2	1	3	2		4	13	3	21	37	

2 沿革

- 昭和33年11月1日 神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置
（所在地：川崎市川崎区富士見2-1-4）
- 同 神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
- 昭和33年12月20日 落成開館式を挙げる
- 昭和34年1月12日 開館し、館内閲覧業務を開始
- 昭和34年3月20日 附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
- 昭和34年5月15日 商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
- 昭和35年1月13日 社会人に図書の館外個人貸出しを開始
- 昭和35年4月20日 小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
- 昭和35年7月1日 図書資料の複写サービスを開始
- 昭和36年4月16日 視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
- 昭和39年5月1日 自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
- 昭和40年9月1日 高校生に図書の館外個人貸出しを開始
- 昭和42年1月16日 書庫を増築、川崎市から取得
- 昭和44年7月16日 神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
- 昭和45年8月18日 移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
- 昭和46年2月25日 特許庁により公開公報閲覧所に指定
- 昭和46年6月2日 神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
- 昭和46年7月1日 理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
- 昭和47年8月1日 神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
- 昭和49年8月1日 神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
- 昭和53年11月17日 開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
- 昭和55年4月1日 図書館協力車事業本格運行を開始
- 昭和57年12月16日 1階改修工事により障がい者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
- 昭和58年4月1日 神奈川県科学技術文献相互利用を開始
- 昭和59年3月31日 工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
- 昭和59年4月1日 神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
- 昭和59年12月1日 国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
- 昭和60年4月1日 附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会が統合され、神奈川県立図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
- 昭和60年9月19日 改修工事（空気調和設備全面更新、その他改修）のため休館
- 昭和61年4月19日 改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
- 平成元年2月15日 開館30周年記念式典を挙げる
- 平成2年4月24日 県立図書館においてKL-NET一部稼働
- 平成3年4月16日 KL-NET全面稼働
- 平成4年3月31日 団体貸出しを廃止
- 平成5年1月21日 特許検索用CD-ROMを導入
- 平成5年3月31日 理工学文庫を廃止
- 平成8年9月17日 特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
- 平成10年1月7日 リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
- 平成10年4月1日 神奈川県立図書館組織規則改正により3部7課制。リニューアルオープン
- 平成12年3月1日 KL-NETを更新
- 平成13年4月1日 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県立図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
- 平成13年6月5日 ITコーナー（インターネット一般公開）開設
- 平成14年4月1日 図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
- 平成16年4月15日 生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
- 平成17年4月15日 KL-NETを更新
- 平成17年10月1日 ビジネス支援室（1階）を開設
- 平成18年4月1日 神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
- 同 やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1階）、化学文献室（地下1階）を開設

- 平成18年9月19日 生態学コーナー（1階）を開設
- 平成19年10月12日 ビジネス情報クイックコーナー（1階）を開設
- 平成20年9月12日 サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
- 平成20年11月13日 開館50周年記念式典を挙げる
- 平成21年3月31日 生態学コーナー（1階）を廃止
- 平成22年4月1日 神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
- 平成24年3月31日 知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
- 同 ビジネス情報クイックコーナー（1階）を廃止
- 平成26年6月25日 「社史フェア2014」を初開催（27日まで）
- 平成27年9月11日 社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
- 平成29年10月1日 KSP（川崎市高津区坂戸3-2-1）への移転準備のため一部休館（1階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
- 平成29年11月22日 入館者数1,000万人を達成
- 平成29年12月1日 KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
- 平成30年4月1日 KSPに移転
- 同 神奈川県立図書館組織規則改正により1部3課制
- 平成30年5月14日 移転再開館記念式典を挙げる
- 平成30年5月15日 「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
- 同 公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入
- 令和元年11月21日 開館60周年記念講演会を開催
- 令和2年3月4日 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部サービス（閲覧室の利用、資料の閲覧等の利用）の休止
- 令和2年4月12日 特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ臨時休館
- 令和2年5月27日 国における緊急事態宣言解除に伴い、仮設カウンターを設置し予約貸出及び返却のサービスを再開
- 令和2年6月9日 「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」及び「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」に基づき、閲覧室の座席削減や入場制限などの拡大予防策を講じた上で閲覧サービスを再開
- 令和3年1月12日 国の緊急事態宣言を受けた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」に基づき、平日の開館時間を午前9時30分から午後7時までに変更
- 令和3年3月22日 国における緊急事態宣言解除に伴い、平日の開館時間を通常の前9時30分から午後7時30分までとして運営再開
- 令和3年12月27日 令和4年3月28日までの期間限定で、令和2年に刊行された200点の社史を展示する「社史フェア2021」をオンラインで開催
- 令和4年3月31日 「神奈川県知的所有権センター支部」の名称を廃止
- 令和4年6月1日 県立図書館と共同で、辞書・事典を中心とした電子書籍サービスを開始
- 令和4年12月14日 令和4年12月17日までの4日間、令和3年に刊行された195点の社史を展示する「社史フェア2022」をカンファレンスルームで開催
- 令和5年5月8日 新型コロナウイルス5類移行及び「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」廃止に伴い、「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」を廃止し、通常開館を開始
- 令和5年11月11日 入門的な理工系図書の購入のため、総額50万円を目指し、神奈川県まなびや基金（事業提案型）の寄附募集を開始
- 令和6年3月29日 神奈川県まなびや基金（事業提案型）の募集額が目標額を達成（寄附総額：589,044円）

3 施設の概要

(1) 建物

名称	使用開始年月日	延床面積	所在地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000 m ²	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710 m ²	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305 m ²	相模原市南区当麻3655番
野庭収蔵庫	平成15年4月1日	1,491.840 m ²	横浜市港南区野庭町1660番
合計	—	4,112.855 m ²	—

(2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク

(ア) 西棟……………鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）、2階
閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット、
カンファレンスルーム、コンサルティングルーム
（合計座席数140席）

(イ) R&D棟……………鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）、2階
事務室、書庫A、書庫B

イ 相模原書庫（外部書庫）……………鉄筋コンクリート造、4階
（株）ギオン アーカイブセンター内

ウ 野庭収蔵庫……………鉄筋コンクリート造
北棟3階 事務室、書庫（雑誌） 7室
北棟4階 書庫（図書・雑誌） 6室
南棟4階 書庫（雑誌） 9室 計22室

(3) 蔵書の状況（令和7年4月1日時点）

ア かながわサイエンスパーク

(ア) 西棟……………図書 約66,000冊
雑誌（専門雑誌最新号） 約1,000タイトル
(イ) R&D棟……………図書 約29,000冊
雑誌（上記(3)ア(ア)の雑誌タイトル数を含む）
洋394タイトル
和5,648タイトル

イ 相模原書庫（外部書庫）……………図書 約141,000冊

ウ 野庭収蔵庫（デポジット・ライブラリー）……………図書 約23,000冊
雑誌 洋1,798タイトル
和223タイトル

エ 合計……………図書 約259,000冊
雑誌 8,063タイトル

4 令和7年度 県立川崎図書館の取組み

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

(2) 県立川崎図書館運営方針

ア 基本方針(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGs の理念を踏まえ、人生 100 歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

- (ア) 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完し合いながら県立の図書館として一体的な運用を行う。
- (イ) 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。
- (ウ) 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を強化し、電子ジャーナル等による情報から専門書、知的財産関連・規格資料まで、「ものづくり技術」を「学び、活かし、拓く」資料等の収集、提供を積極的に行う。
- (エ) 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、県内市町村立図書館・大学図書館・県立学校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。
- (オ) 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- (カ) 生涯を通じた学びと研究を可能にするために必要な資料・情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者が ICT（情報通信技術）を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。
また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生 100 歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。
- (キ) 図書館の利用に障がいのある方に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。
- (ク) 図書館活動について常に業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

イ 令和7年度 重点的取組み

(ア) 円滑な図書館運営の実現

基本方針に基づき、県立川崎図書館の魅力や役割等を実現するためサービスを円滑に提供できるように努める。

(イ) デジタル化の推進

図書館におけるサービスのデジタル化推進に努める。電子書籍の充実を図るとともに、電子ジャーナルやデータベース等と併せ、電子リソースの周知に努め、利用促進を図る。

(ウ) 図書館等公衆送信サービスに関する検討

「図書館等公衆送信サービス（図書館資料のメール送信サービス）」について、実施に向けた調査を行うとともに、適切な導入時期を検討する。

(エ) 県内産業団体等との連携

「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関、県内試験研究機関等との連携に努める。また、将来のものづくり人材の発掘のため県立学校をはじめとする教育機関との連携を図る。

(オ) 資料の収集

「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。

(カ) 資料利活用のための保存機能

貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、県立図書館収蔵館の再整備にあわせた資料の保存対策を実施する。

(キ) 行政支援サービス

神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や県立学校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。

(ク) レファレンスサービス

レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子リソース等の活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、当館のサービス内容やその成果についての広報を発信するとともに、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。

(ケ) 「知の機会」の提供

当館の所蔵資料を活かしたものづくり技術に関連する催事や展示を通じ「知の機会」を提供する。人生100歳時代に向け、生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、講座などを開催する。

(コ) 図書館の利用に障がいのある方へのサービス

全ての方が利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内など利用者目線での整備に努めるとともに、「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」の理念に基づきサービスを行う。

(サ) 図書館専門職員の人材育成

県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、県内市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組む。

(シ) 各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化

新たな利用者層を掘り起こすための PR メディアとして、ホームページ、SNS、ポスター、チラシ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種メディアを使って情報発信に努める。

ウ 図書館活動の数値目標

令和7年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

(ア) 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	①利用者満足度	98.0%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	②入館者	100,000人	年間入館者数
	③教育・普及事業への参加者	800人	研修、講座や知的財産相談等の参加者数
	④インターネットアクセス (両県立図書館共通)	1,280,000件	ホームページのアクセス件数
資料・ 収蔵品	⑤活用	1,590点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥維持管理	資料の棄損を 防止する	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損を予防し、保存環境の整備に取り組む(記述項目)
調査研究	⑦研究成果の公開	36件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会等での発表件数
情報発信	⑧事業情報の発信	360件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨観覧料及び事業等収入 (図書館は除く)	—	—
	⑩施設点検	図書館利用に障 がいのある人々 に配慮する	誰もが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)
	⑪自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知 識、レファレン ス能力、効果的 な広報スキルな どの専門的能力 の向上	館内外の研修等への参加(記述項目)

(イ) 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集・ 整備	①社史等の収集	452件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
資料・ 情報の提供	②レファレンスサービス	4,300件	口頭、電話、メール、文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む)
	③貸出数	21,600冊	個人利用者への貸出冊数
	④書庫内資料利用数	35,000冊	書庫の資料を提供した冊数
	⑤複写枚数	100,000枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプリントアウト、郵送複写等による情報の提供
非来館型 サービス	⑥電子書籍の提供 (両県立図書館共通)	7,500件	電子書籍の閲覧件数
連携・ 協力事業	⑦行政支援サービス	570件	県機関、県試験研究機関や県立学校図書館等への資料提供件数
	⑧県内市町村立図書館等への貸出冊数	6,900冊	県内市町村立図書館等への資料提供冊数
	⑨県外図書館等への貸出冊数	360冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑩資料展示回数	81回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑪視察・見学会等実施件数	30件	視察や見学会、職業体験、インターンシップ等を受け入れた件数
	⑫各団体・機関への広報実施件数	45件	産業団体や外部機関等へ出向いての当館の紹介や該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数

※両県立図書館とは、県立図書館と県立川崎図書館を意味する。

5 令和7年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

神奈川の文化と産業の発展、社会づくりへの寄与	(1) 資料収集・整備	ア 資料・情報の収集	(ア) ものづくり技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
			(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。
			(ウ) 会社史、経済団体史等の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実に努める。
			(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ&DVD等の収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するビデオ・DVDを収集する。また、ものづくり技術に関する個人貸出用DVD等の収集も行う。
		イ 資料・情報の整備	(ア) 資料の整理、点検、修理	資料点検、修理等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。
			(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースに加え、CiNi Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。
			(ウ) 神奈川関係記事・文献情報の作成・整備	県立図書館と共同して、所蔵資料から神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を選択し、その索引データをデータベース化してインターネットで公開することにより、県民が地域情報を迅速かつ広範囲に検索・入手できる環境を整える。
			(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫(主に雑誌)及び相模原書庫(図書)に保管する資料について、適切な維持管理を行う。次年度の県立図書館収蔵館への資料の移転準備及びその後の運用の検討を行う。
			(イ) 野庭収蔵庫(科学技術系外国語雑誌デジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。次年度の県立図書館収蔵館への資料の移転準備及びその後の運用の検討を行う。
			(ア) レファレンスサービス	ものづくり技術分野に関する科学技術資料及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ的確な対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、県内市町村立職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。
	(2) 資料・情報の提供	ア 基本的サービス	(イ) 閲覧、登録、貸出(視聴覚資料含む)、リクエスト、複写サービス	カウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全・労働衛生ビデオ&DVDは団体貸出を行う。来館利用者の利便性のため、館内で図書や雑誌の文献複写ができるよう複写機を設置する。
			(ウ) 郵送複写サービス、宅配貸出サービス	文献の複写物や図書の自宅への郵送等により、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
			(エ) 電子ジャーナル、オンラインデータベース、電子書籍サービス	電子情報通信学会技術研究報告等の電子ジャーナルを提供するとともに、JDreamIII(科学技術に関する論文検索)、JP-NET(特許検索)等のデータベースや電子書籍を提供する。
			(オ) 障がい者サービス	全ての方が図書館において必要な情報が入手できるように、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出サービスを行う。
		イ 特色あるサービス	(ア) ものづくり技術に関する情報の提供	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。
			(イ) 知的財産関係情報等の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財スポット」を活用した知的財産情報の普及に努める。
			(ウ) 社史情報の提供	所蔵する約22,000冊の会社史を活用し、社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。
			(エ) ものづくり入門資料等の提供	ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。
			(ア) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。
			(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。
	(3) 連携・協力事業	ア 連携・協力	(ウ) 県内大学図書館、県立学校等との連携、協力の推進	県内の大学図書館や県立学校の図書館等へ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。
			(エ) 行政支援の推進	県行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービス等を行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。
			(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知的財産部門で構成されている館種を超えたネットワークである神奈川県資料室研究会の活動をサポートする。
			(イ) 知的財産関係団体等との連携	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関と相互に連携を強化する。弁理士会等との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。
		イ 関係団体等業務	(ア) 展示等の実施	当館所蔵資料と自作パネルや他からの借出物と組み合わせて、時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として「ものづくりギャラリー」や協力機関等での展示を開催する。また、館外でのPRにも努める。
(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応			図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。	
(ウ) ホームページ等による広報・情報発信			展示や講演会等のイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の出番(ブログ風の記事)」、県立の図書館の公式X(旧Twitter)など、生き生きとした情報発信に努める。また、基本理念、利用方法、統計や活動評価などの当館の情報を公表する。	
(エ) 刊行物の発行			当館の館報「ものづくり文化」を刊行し、来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館、関係機関等に配布する。また、社史情報紙「社楽」、当館の事業等をまとめた「要覧」を発行する。	
(ア) 展示関連イベントの開催			展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
(イ) ものづくりカフェの開催			科学者などの専門家と県民が気軽に語り合うものづくりカフェを開催する。	
(4) 広報・普及活動	ア 広報活動	(ウ) 各種イベントの開催	当館資料やデータベースの使い方を紹介するミニレクチャーや大人の理科教室等魅力的なイベントを開催する。	
		(ア) 図書館アドバイザー・レクチャー制度の運営	両県立図書館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施している。両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員の研修機会としても機能させる。	
		(イ) 活動評価の実施、公表	図書館活動について運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。	
		(ウ) 利用調査の実施	図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。	
	イ 講座等開催事業	(エ) 職員の研修	司書職員の資質向上のための館内研修の機会を設ける。また、神奈川県図書館協会の研修をはじめ、外部の各種研修への積極的な参加を促す。研修成果を共有して全職員のレベルアップを図り、利用者の満足度向上につなげる。	
		(オ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援する。研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿など、研究成果の発表・発信に結実させ、職員全体の能力向上を図る。	
		(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者に快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。当館の業務の運用に係る効率的な経費の執行に努める。	
		(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。	
		ア 運営状況の点検・評価	(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。
			(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。
(5) 図書館運営の条件整備	イ 施設の整備	(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。	
		(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。	

6 予算・決算

(1) 令和7年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	221,921,000	賃借料、共益費等 175,605,000	
			その他 26,290,000	
			ICタグ整備費 20,026,000	
	財源内訳	立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		雑入	300,000	複写サービス等
		一般財源	221,601,000	
	図書館事業費	18,741,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 18,319,000	
			講演会等の実施・連携 422,000	
	財源内訳	立替収入	0	
		雑入	0	
		一般財源	18,741,000	
	計		240,662,000	
	財源内訳	立替収入	20,000	
		雑入	300,000	
一般財源		240,342,000		

(参考) 川崎図書館費の推移

		令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6/R元
当初 予算額	維持運営費	18,395,000	181,247,000	182,728,000	192,247,000	197,134,000	1071.7%
	図書館事業費	20,299,000	23,802,000	18,142,000	18,726,000	21,516,000	106.0%
	整備事業費	379,909,000	-	-	-	-	-
	計	418,603,000	205,049,000	200,870,000	210,973,000	218,650,000	52.2%
決算額	維持運営費	13,546,636	178,989,352	178,110,236	184,677,449	189,200,399	1396.7%
	図書館事業費	19,672,253	23,577,032	18,068,885	18,532,058	21,398,662	108.8%
	整備事業費	233,869,853	-	-	-	-	-
	計	267,088,742	202,566,384	196,179,121	203,209,507	210,599,061	78.8%

(2) 令和6年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
事務局運営費	教育委員会事務局運営費	89,044	専門資料の提供	
	財源内訳 繰入金	89,044	まなびや基金繰入金	
	計	89,044		
教育施設各所営繕費	教育施設各所営繕費	6,545,000	LED 化工事	
	財源内訳 一般財源	6,545,000		
	計	6,545,000		
川崎図書館費	維持運営費	189,200,399	賃借料、共益費等 167,134,458	
			その他 22,065,941	
	財源内訳	立替収入	12,772	複写機電気料金立替収入
		雑入	263,580	複写サービス等
		繰入金	1,000,000	財政基金繰入金
		一般財源	187,924,047	
	図書館事業費	21,398,662	高度先端技術情報・専門資料の提供 21,193,158	
			講演会等の実施・連携 205,504	
	財源内訳	立替収入	0	
		雑入	0	
		繰入金	500,000	まなびや基金繰入金
		一般財源	20,898,662	
	計	210,599,061		
	財源内訳	立替収入	12,772	
雑入		263,580		
繰入金		1,500,000		
一般財源		208,822,709		
合計	217,233,105			
立替収入	12,772			
雑入	263,580			
繰入金	1,589,044			
一般財源	215,367,709			

7 令和6年度 事業の概況

(1) 資料収集・整備

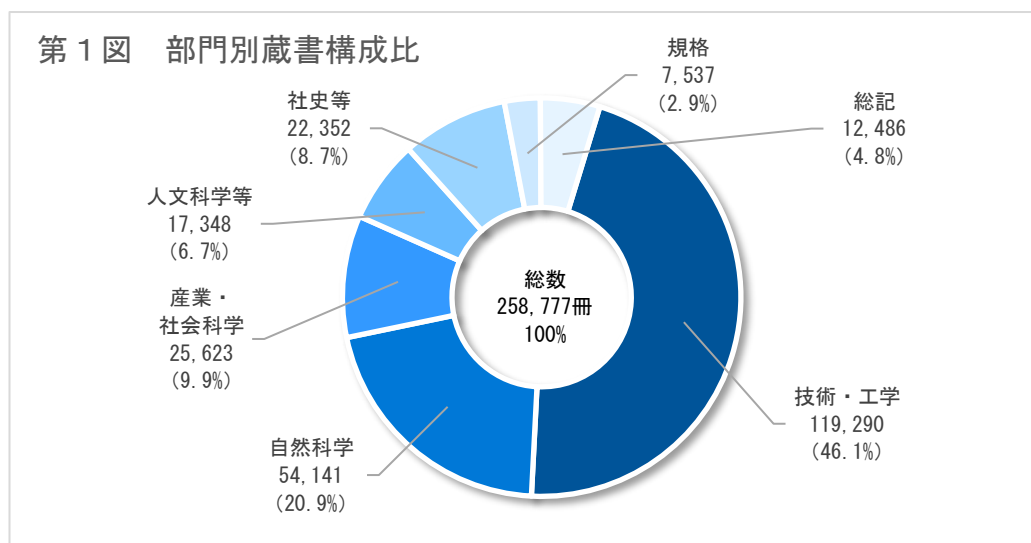
ア 資料・情報の収集

(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物（雑誌、年鑑・年報、論文集等）の収集

a 図書

令和7年3月末現在の蔵書冊数は258,777冊（前年度257,517冊）で、前年度に比べて1,260冊の増加となっている。新たに受け入れた1,785冊のうち779冊が寄贈によるものとなっている。また、亡失図書や汚破損図書、重複している図書など計525冊を払い出した。

図書の部門別蔵書構成比は第1図のとおりである。（p.34 事業統計第1表 参照）



b 逐次刊行物類

主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁・企業の発行する科学技術専門雑誌を収集しており、令和7年3月末現在の雑誌の所蔵数は8,063タイトル（前年度8,060タイトル）となっている。この中には、継続的に受け入れている1,075タイトルのほか、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌が含まれている。

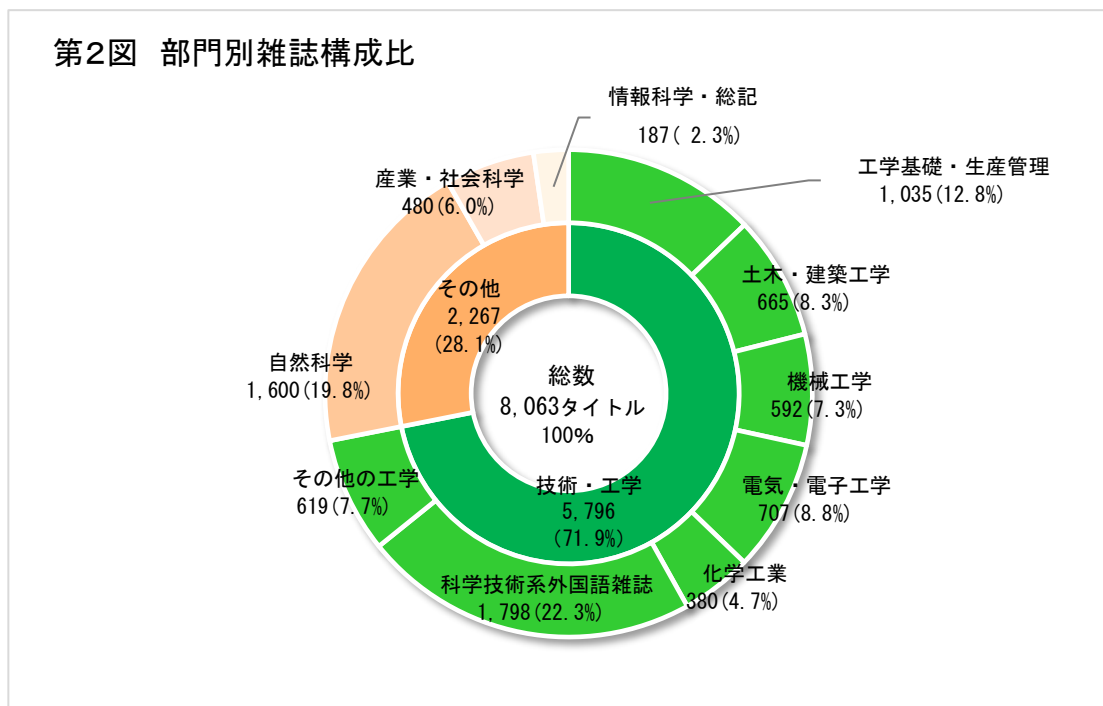
令和6年度は、新たに7タイトルを受け入れ、短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌など計4タイトルを払い出した。

所蔵数のうち外国語雑誌は2,192タイトル（前年度2,192タイトル）で、その内訳は、購入2タイトル、野庭収蔵庫保管分（デポジット・ライブラリー）1,798タイトル、外国語化学雑誌389タイトルなどとなっている。

雑誌の部門別構成比は第2図のとおりである。

新聞は33タイトル（前年度33タイトル）で、そのうち継続受入紙は、購入が一般紙を含めた6タイトル、寄贈による継続収集は21タイトルとなっている。（p.34 事業統計第2表 参照）

第2図 部門別雑誌構成比



(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集

特許関係の解説書・活用事例に関する図書等の収集を行った。

規格資料については「所蔵規格資料類リスト」を図書館ホームページに掲載していたが、令和5年12月25日からは、今まで複数のリストに散在していた同一の規格番号を一括して検索できる「所蔵規格検索」を公開している。

主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区分		保有状況
国際・海外規格	ASTM (米国材料試験協会規格)	2024年版 旧年版もあり
	DIN (ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部 (英訳版も一部所蔵)
国内規格	JIS (日本産業規格)	全分野 (A～Z) 所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック、英訳JISハンドブック (2024年刊行分が最新) も所蔵
	JEC (電気学会規格)	大部分所蔵 (廃止も一部所蔵)
	JEM (日本電気工業会規格)	追録あり
	JASO (自動車技術会規格)	2021年版が最新

(ウ) 会社史、経済団体史等の収集

全国有数のコレクションであり、積極的に収集を行った。その大半は、発行元などから寄贈であり、寄贈冊数等は405冊となった。購入による収集は3冊で、令和6年度の受入数は408冊 (前年度348冊)、所蔵総数は22,352冊 (前年度21,942冊) となった。(p.34 事業統計第1表 参照)

(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ&DVD等の収集

令和7年3月末の視聴覚資料の所蔵総数は591点(前年度586点)となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用362点(ビデオテープ274点、DVD88点)、個人貸出用がビデオ・DVDを合わせて229点となっている。(p.34 事業統計第3表ア 参照)

(オ) マイクロフィルムの管理換え

「化学工業日報」昭和23年1月～平成13年12月分のマイクロフィルム467点について県立図書館に管理換えを行った。(p.34 事業統計第3表ウ 参照)

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理、点検、修理

令和6年度は、令和6年4月1日から4月7日にかけて資料点検を行った。実施した作業はいずれもKSP内に配架した図書(公開・書庫)のICタグによる点検、書庫内雑誌一部の点検と移動、JISファイルの整理などであった。

破損等で修理が必要となった資料については随時対応し、令和6年度は2,079件(前年度1,435件)の修理を行った。

(イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPAC及びホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。「雑誌架最新号公開リスト」「科学技術系外国語雑誌目録」「産業安全・労働衛生ビデオ&DVD」等のリストを公開しているほか、「所蔵規格検索」のデータの更新を逐次行っている。

(ウ) 神奈川県関係記事・文献情報の作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献(新聞記事及び図書・雑誌論文等)の主な情報を入力し、利用者に提供している。令和6年度は、神奈川県に関する文献224件(県内新聞記事11件、県内文献213件)の新規データ入力を行った(前年度330件)。

(エ) 神奈川県まなびや基金による理工系図書の整備

令和5年度に、神奈川県まなびや基金(事業提案型)を活用した入門的な理工系図書の購入のための寄附募集を実施し、総額50万円の目標に対し589,044円の寄附があった。令和6年度は寄附金をもとに理工系の入門書234冊を購入し、「本でつなぐエール 司書が選んだ科学技術の本」として展示を実施した(展示期間:令和6年9月13日から令和7年2月12日まで)。

ウ 書庫・収蔵庫の運用

(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理

平成30年のKSPへの移転を機に当館の所蔵資料はKSPと相模原書庫の2カ所に保管することとなった。このうちKSP書庫には、雑誌6,042タイトル、新聞、備品図書や書庫内社史等の図書約29,000冊を配架している。相模原書庫には約141,000冊の図書を箱保管している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日12時までに依頼されたものを当日16時までに提供する体制を組んでいる。令和6年度の利用冊数は、3,164冊(前年度3,788冊)であった。(p.36 事業統計第7表のイ 参照)

(イ) 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業資料室等との協力により、デポジット・ライブラリーを設置し、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。ただし、令和3年度中からは収蔵スペースの都合により寄贈雑誌の受け入れを中止している。現在の所蔵数は1,798タイトル（前年度1,798タイトル）である。その他に図書約23,000冊、和雑誌223タイトルがある。

なお、野庭収蔵庫資料の県立図書館収蔵館への移転準備のため、一部資料のサンプルクリーニングを実施した。

野庭収蔵庫の資料は宅配によりKSP内へ配送を行い、閲覧及び複写の利用に供している。平成30年9月から、派遣職員が週2回（火・金曜）現地勤務する体制となっている。利用冊数は362冊（前年度445冊）、複写枚数は659枚（前年度353枚）だった。複写枚数のうち83.9%は外国語雑誌であった。（p.36 事業統計第7表のウ 参照）

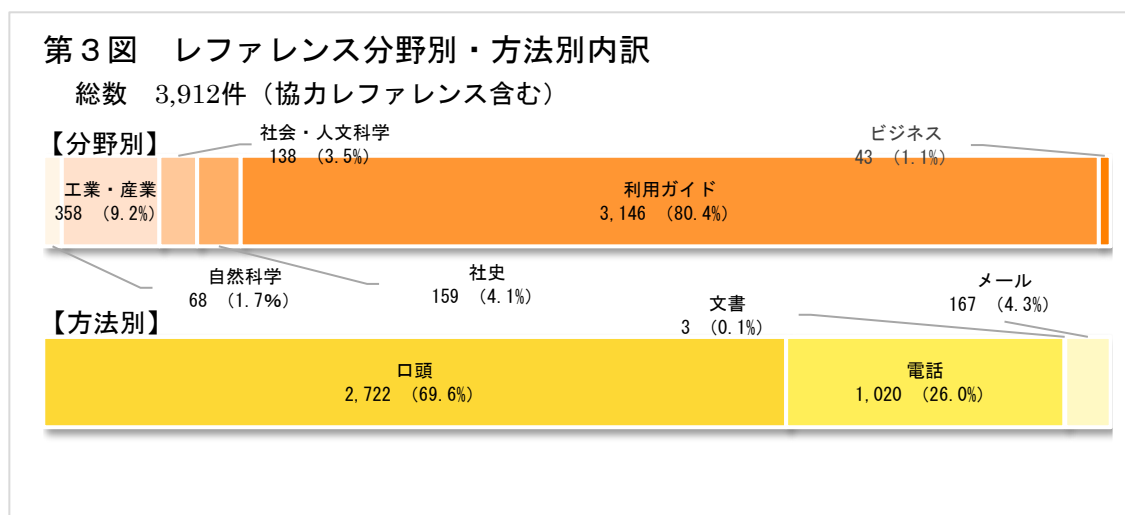
(2) 資料・情報の提供

ア 基本的サービス

(ア) レファレンスサービス

令和6年度のレファレンス受付件数は協力レファレンス92件を含めて3,912件（前年度4,209件）であった。当館の特色である科学技術等に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録し、広く公開した。

レファレンスの分野別・方法別内訳は、第3図のとおりである。（p.35 事業統計第6表参照）



(イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

令和6年度の入館者数は99,938人（前年度99,693人）であった。（p.35 事業統計第5表 参照）

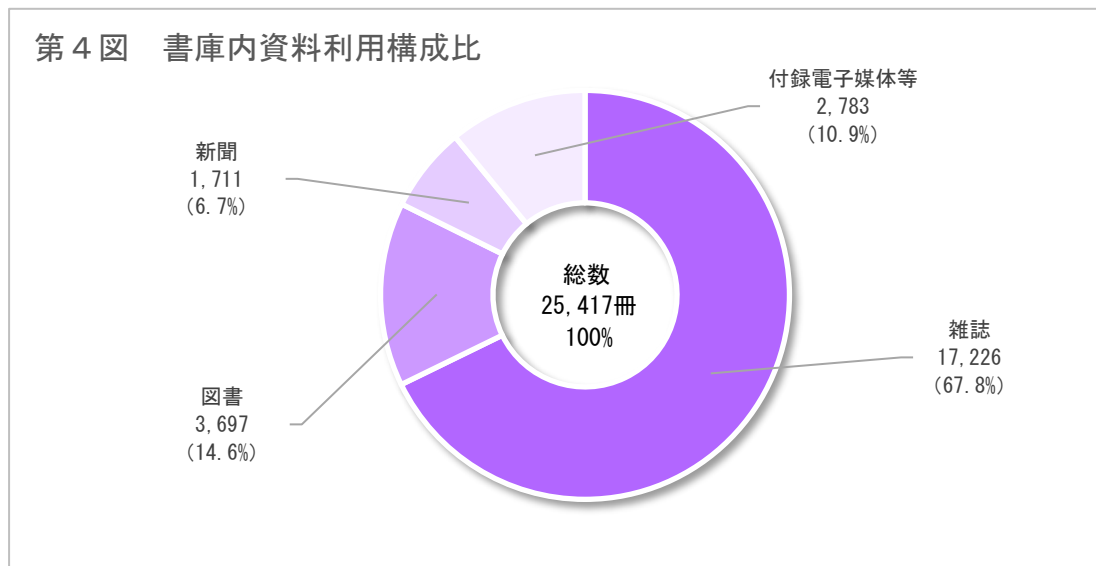
個人の新規登録者は960人（前年度1,049人）であった。貸出は図書20,131冊（前年度20,163冊）、視聴覚資料の個人貸出は2,106点（前年度1,181点）であった。（p.37～p.38 事業統計第9、10表、p.41 第15表のア 参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生ビデオ&DVDについて、登録団体は45団体、貸出は79件（ビデオ9点・DVD228点）で、上映回数は490回、参加人数は10,669人となっている。（p.41 事業統計第15表のイ 参照）

書庫内資料利用の総数は 25,417 冊（前年度 27,718 冊）であった。書庫内資料利用の約 70%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は 第 4 図のとおりである。(p. 36 事業統計第 7 表 参照)

リクエストサービス（貸出中の資料の予約や、当館未所蔵の資料を他館からの取り寄せや購入により提供するサービス）の申込みは 8,059 件（前年度 7,606 件）であった。

(p. 38 事業統計第 11 表 参照)



(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス

複写サービスの総計は、申込み 2,506 人（前年度 2,522 人）、複写枚数 89,197 枚（前年度 88,131 枚）であった。(p. 39 事業統計第 12 表 参照)

宅配貸出サービスは、216 冊（前年度 235 冊）であった。

(エ) 電子ジャーナル、オンラインデータベース、電子書籍サービス

インターネットによる電子ジャーナル（主に学術雑誌を電子化したもの）やオンラインデータベース（オンラインで文献や新聞記事、特許情報等を検索できるもの）を提供しており、その利用人数は 1,379 人（前年度 1,287 人）であった。

電子ジャーナルのうち、国内学会誌の利用者数は 614 人（前年度 629 人）であった。オンラインデータベースは「JDreamIII」については 73 人（前年度 53 人）、日経テレコンについては 38 人（前年度 35 人）であった。(p. 37 事業統計第 8 表のイ 参照)

また、オンラインデータベースの情報提供の一環として、「日経テレコン」の検索について、オンラインでレクチャーを開催した。受講は 13 名であった。

令和 4 年 6 月 1 日から県立図書館と共同で、紀伊國屋書店電子書籍閲覧サービス「KinoDen」を利用し、調査・研究に役立つ辞書・事典などの電子書籍サービスの提供を開始している。令和 6 年度は 98 タイトルを追加し、275 タイトルとなった。令和 6 年度は 6,068 件の利用があった。(p. 37 事業統計第 8 表のア 参照)

(オ) 障がい者サービス

平成 28 年度から（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の使用許諾を得て「耳マーク」を掲示し、カウンターには筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置している。

また、必要な方には拡大読書器や拡大鏡、リーディングトラッカーを提供している。令和 6 年度は、新たに文字認識音声拡大読書器の提供を開始した。

令和 3 年 7 月から開始した「遠隔手話通訳サービス」については、令和 6 年度は利用が

なかった。

なお、来館が困難な方のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、令和6年度は利用申込がなかった。

(カ) リユースコーナー

当館の除籍資料や収集対象外の資料の有効活用を図るため、対象となる資料がある場合、手続き不要で自由に持ち帰りできるリユースコーナーをものづくりギャラリーに設置している。

イ 特色あるサービス

(ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。また、講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等での展示を行った。(p.24 8 令和6年度 講座等実施状況 参照)

(イ) 知的財産関係情報等の提供

知的財産関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、特許情報データベース「JP-NET」や「J-PlatPat」、米国特許商標庁、欧州特許庁のサイトによる特許情報の提供を行った。

日本弁理士会関東会神奈川委員会と KISTEC ((地独) 神奈川県立産業技術総合研究所) と共催して「図書館で学ぶ知的財産講座 (全4回)」をカンファレンスルームで開催し、第1回は29人、第2回は27人、第3回は29人、第4回は13人が受講した。

KISTEC 主催による「知財セミナー」は、令和5年度に引き続き「KSP ノウハウカレッジ」の一環として開催され、会場で32人、オンラインで53人が参加した。

令和4年度から INPIT 神奈川県知財総合支援窓口と KISTEC と共催して開催しているセミナーは、令和6年度は「神奈川県立川崎図書館 あなたの知らない知財の落とし穴」というテーマで開催し38人が参加した。

相談事業としては、「知財総合支援相談」は月2回、INPIT ((独) 工業所有権情報・研修館) の神奈川県知財総合支援窓口の協力を得て行い、14件(前年度16件)の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、(特非) 日本技術マネジメント協会の協力を得て行い、14件(前年度10件)の相談があった。平成30年度から開始した「知的財産相談」は月2回、日本弁理士会、関東会神奈川委員会の協力を得て行い、8件(前年度11件)の相談があった。

日本弁理士会関東会神奈川委員会と連携して開催している「企業関係者と弁理士の知財研究会」は、令和6年度は休止とした。

また、KSP や KISTEC との連携によるコーナーを設け、KSP の刊行物や KISTEC の教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。

(ウ) 社史情報の提供

全国有数の社史コレクションを公開して利用に供し、その活用を図った。

社史関連の催事は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年11月以降実施をしていなかった「社史編纂サポートセミナー (社史ができるまで講演会第36回)」を6月に開催し、19人が参加した。令和6年度は「講演会・企業の足跡を知る」は開催しなかった。

社史フェアについては、12月4日から12月7日まで、令和5年に刊行された200点の

社史に解説を付けて展示する「社史フェア 2024」をカンファレンスルームで開催し、延べ143人の来場があった。

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」を2回刊行した。(p.21 (4)ウ(イ) 定期刊行物 参照)

ホームページでは、特色のある社史を写真と文章で紹介する「すごい社史」で6件7点の社史を取り上げた。

(エ) ものづくり入門資料等の提供

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。ものづくりに関連のある漫画と合わせて約2,700冊を提供している。

(3) 連携・協力事業

ア 連携・協力

(ア) 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通じた県内公共図書館への資料提供数は5,658冊(前年度6,484冊)であった。内訳は県立図書館1,880冊、県内市町村立図書館1,474冊、横浜西口カウンターに2,304冊である。(p.41 事業統計第16表 参照)

また、県立図書館から4,019冊、県内市町村立図書館から395冊借り受け、利用者に提供した。(p.38 事業統計第11表 参照)

県立図書館が企画する県内市町村立図書館等職員を対象とした研修事業の中で、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。(p.22(5)ア(オ) 職員の研究と発信 参照)

(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館等に179冊を貸し出し(前年度205冊)、49冊を借り受けた(前年度30冊)。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。(p.41 事業統計第16表、p.38 第11表 参照)

(ウ) 県内大学図書館、県立高等学校等との連携、協力の推進

県内大学図書館には県立図書館協力車により33冊(前年度42冊)を貸し出した。

「県立の図書館と県立高等学校等との連携・協力事業」を利用する県立高等学校等への資料提供やレファレンスサービスに努めた。貸出冊数は60冊(前年度66冊)であった。(p.41 事業統計第16表 参照)

(エ) 行政支援の推進

県行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスを行った。

イ 関係団体等業務

(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

神奈川県資料室研究会事務局として、書面による総会を5月に開催した。また、理事会(8回)をオンラインで開催し、月例会(6回)については、講演会3回をオンライン、1回を当館のカンファレンスルームで開催し、見学会を2回開催した。また、11月5日から7日に開催された図書館総合展にブースを出展して483人が来場、会場内のスピーカーズコーナーで「会員交流サロン」を開催し、11月例会を図書館総合展のフォーラムとしてオンラインで講演会を開催して107人が参加した。

刊行物は、「神資研ニュース」年8回、年報「神資研 第58号」を発行した。令和6年度末の会員数は、正会員66、賛助会員11、個人会員20、合計97会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事1人（事業部長）、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) 知的財産関係団体等との連携

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が1回、INPIT神奈川県知財総合支援窓口が主催する「INPIT神奈川県知財総合支援窓口事業に係る中小企業等支援機関連携会議」が2回開催され、関係機関との情報交換等を行った。

ウ その他の連携

(ア) ホテル ARU KSP との連携

a 宿泊客向けの資料貸出

宿泊客が宿泊中に当館の資料を個人登録せずに客室で読むことができる宿泊客向けの資料の貸出を、8月15日から開始した。令和6年度に利用した宿泊客は3人、21冊の貸出があった。

b イベントへの協力

7月29日にホテル ARU KSP が開催したイベント「ワインから繋がる地産地消とサイエンス 川崎市内産ワイン×川崎市内産農産物×サイエンス」において、会場内でワインに関する資料を展示した（4冊）。また、イベントに併せて、図書館内のミニ展示コーナーにおいても、7月19日から8月3日まで、「川崎×ワイン」をテーマに展示を行った。

(イ) 「キットパス皆画展」との連携

日本理化学工業（株）が開催する「キットパス皆画展」の展示会場として、ホテル ARU KSP と連携し、当館の一部を開放（令和6年6月から令和7年3月）し、「ともに生きる社会かながわ憲章」や共生社会の理念の普及に寄与した。

(4) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示等の実施

a ものづくりギャラリーでの展示

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を2回開催した。（p.24 8 令和6年度 講座等実施状況 参照）

b 川崎市図書館との広報協力

川崎市が市制100周年を迎えるにあたり、川崎市立中原図書館と川崎市にゆかりのある企業の社史の協働展示を行い、相互にHPで広報を行った。

また、川崎市立高津図書館に社史19冊を貸出し、当館開催の展示「川崎市と歩んできた、これからも歩み続ける 企業の歴史」の広報をした。

c メディア等での広報

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のメディアで当館の資料やサービス等が取り上げられた。

d 変形型月面ロボット「SORA-Q」の展示

タカラトミーの「SORA-Q Thank You アンバサダー企画」で公式アンバサダーに任命され、「SORA-Q Flagship Model」とタカラトミーから提供された説明パネルを、宇宙に関連する当館所蔵資料とともに、閲覧室入口付近に展示した。

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学校名	受入期間	人数
相模女子大学	9月4日～13日(8日間)	1人
東京農業大学		1人

b インターンシップ

県の事業として、大学生のインターンシップを受け入れた。

学校名	受入期間	人数
青山学院大学	8月15日(1日間)	1人
日本大学		1人

c 体験学習等

県の事業として、高校生のジョブシャドウイングを受け入れた。

学校名	受入日	人数
県立大和高等学校	7月30日(1日間)	1人

中学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れた。

学校名	受入日	人数
川崎市立川中島中学校	12月3日(1日間)	2人

d 教員向け研修

県立学校の教員の社会体験研修を受け入れているが、令和6年度は実施しなかった。

e 見学者の状況

令和6年度は、合計で37件、424人の見学者を受け入れた。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに当館の基本理念、運営方針、利用方法をはじめ、展示や講演会といったイベントの案内や報告、「ものづくりのための新着情報」、「司書の出番」等を掲載して情報発信を行った。

また、神奈川県立の図書館公式X(旧Twitter)等を活用して広報に努めた。

イ 講座等開催事業 (p.24 8 令和6年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

a ものづくりギャラリー展示

ものづくりギャラリーでの展示のテーマに関連した講演会を1回開催した。

b SORA-Qの展示

SORA-Qの展示に関連して、子ども向けのSORA-Q Flagship Model 操作体験会を1回、講演会を1回開催した。

(イ) ものづくりカフェの開催

令和6年度は実施しなかった。

(ウ) 各種イベントの開催

a 文字・活字文化の日関連イベント

令和6年度は実施しなかった。

b 電子ジャーナル・オンラインデータベース関連

日経テレコンのレクチャーをオンラインで1回開催し、オンラインデータベースの周知や利活用の促進に努めた。

また、県立多摩高等学校の1学年の生徒向けに、探究授業の一環として、JDreamⅢの使い方や資料の探し方についてのミニレクチャーをオンラインで行った。

c 実験教室の開催

子ども向けの「子ども科学実験室」を(特非)NPOブルーアースの協力を得て夏休み(8月)に開催した。

社会人や学び直しに興味のある方を対象とした「大人の理科教室」を(特非)NPOブルーアースの協力を得て10月に開催した。

ウ 刊行物

(ア) 館報「ものづくり文化」

館報として特集テーマを決め、年1回発行している。令和6年度は、特集テーマを「おもちゃの技術と宇宙産業」として、坂井真一郎氏と平野大地氏(いずれも宇宙航空研究開発機構)、宮本みどり氏(KISTEC)に論文の執筆を依頼したほか、ものづくりに関係する方々に寄稿していただいた。当館職員も執筆した。

(イ) 定期刊行物

a 社史情報を紹介する広報紙「社楽」を2回発行した。

b 当館の事業等の報告をまとめた「令和6年度要覧」を発行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
館報「ものづくり文化」 第66巻「特集 おもちゃの技術と宇宙産業」	A4	22	1,000	R7.3
社楽(社史情報紙) Vol.106「川崎市市制100周年」 Vol.107「社史フェア2024 開催報告」	A4	各2	各100	R6.11 R7.1
令和6年度要覧	A4	44	50	R6.8

(5) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザー・レクチャー制度の運営

両県立図書館が、有識者から図書館の運営方針や運営方法などに関し情報や助言等を得ることを目的として実施している。職員の研修の場としても活かされている。

令和6年度は現地とオンライン(両県立図書館をWeb会議システムでつないだ)併用にて開催した。

開催日	アドバイザー	テーマ
9月12日(木) 14:00～16:00	野末 俊比古 氏 青山学院大学 教育人間科学部長・教授	「AI/DX時代における公共図書館のモデル づくりーサービスとマネジメントの最適 化をめざしてー」
2月13日(木) 14:00～16:00	岸田 和明 氏 慶應義塾大学 文学部教授	「図書館評価のためのデータ分析の技術」

※県立図書館との共催事業として実施

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について、運営の改善を図ることを目的として、毎年度目標数値を掲げ、活動評価を行っている。令和6年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分10項目）及び個別項目（6区分14項目）について目標値を設定した。その際、令和4年度活動評価に対して令和5年度に行われた外部有識者による第三者評価の提言を受け、一部項目の目標数値について下方修正した。（p.29 9 令和6年度 県立川崎図書館の活動評価 参照）

(ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で10月29日～11月4日（県立図書館は10月29日～11月3日）の6日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果と分析についてはホームページで公開している。

(エ) 職員の研修

例年、職員向けに、当館の特色ある資料に精通するための研修会「専門家に資料を学ぶ」を開催している。令和6年度は、講談社ブルーバックス編集長の青木肇氏が講師を務めた（3月13日）。

その他にも館員による職員研修を実施したほか、神奈川県資料室研究会や神奈川県図書館協会等が主催する研修会や、神奈川県教育委員会主催の関東・甲信越静地区図書館地区別研修等に参加して研鑽に努めた。

新採用司書職員に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

(オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する県内市町村立図書館等職員を対象とした研修事業ほかで、当館職員が研修の講師等を務めた。

県立図書館主催

月日	研修名	テーマ等	講師
6月12日(水) ～ 7月3日(水)	市町村図書館等職員 基礎研修（資料掲載）	「県立川崎図書館の機能と役割」	企画情報課 主査 石井 里枝
9月6日(金)	市町村図書館等職員専門研修 レファレンス ①理工系	「県立川崎図書館のレファレンス」 「社史とレファレンス」	企画情報課 司書 島崎 睦 司書 峯山 智美

他団体主催

月日	派遣先	テーマ等	講師
9月4日(水) *オンライン 9月28日(土)	三田国際学園	社史	企画情報課 司書 峯山 智美

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

閲覧室内で安全対策の施された無線 LAN 回線を整備し、利用者に提供している。

利用者が細かい文字の読解に供するため、LED 付ルーペを 1 台新設した。

当館の広報のため、KSP ホテルにカタログスタンドを設置し、利用案内等を配架した。

当館のお知らせやイベント等の広報をするため、図書館入口にデジタルサイネージを設置した。

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、電気などの省エネルギーや裏紙の利用等に取り組んだ。

8 令和6年度 講座等実施状況

(1) 展示

ア ものづくりギャラリー展示

開催期間	テーマ	内容
4月9日(火) ～ 10月9日(水)	食を支える技術	食品包装技術の開発が活発化し始めた昭和から現在までの移り変わりについて、当館で所蔵している図書、専門雑誌、社史など様々な資料と「おいしさ」を追求する企業の様々な取組みについて紹介した。 前期は「食品産業を支えるスマート技術」、後期は「おいしさを支える技術」を特集した。
10月11日(金) ～ 3月31日(月)	橋の技術	橋の技術書や専門雑誌などの所蔵資料を展示するとともに、パネルや写真の掲示等も行い、橋の技術、安全、保守等について紹介した。 前期は「多摩川スカイブリッジ、横浜ベイブリッジ&鶴見つばさ橋」、後期は「全国の橋」を特集した。

イ ものづくり入門コーナー・公開書架での展示

展示期間	テーマ(※1)
通年	藤嶋昭氏と光触媒
4月16日(火)～6月12日(水)	追悼ピーター・ヒッグス氏
5月27日(月)～7月17日(水)	太陽フレア
6月7日(金)～7月8日(月)	全国安全週間：2024年7月1日(月)～7日(日)
6月14日(金)～7月17日(金)	市制100周年 川崎ものづくり
6月14日(金)～12月11日(水)	川崎市と歩んできた、これからも歩み続ける企業の歴史(低書架)
6月18日(火)～7月17日(水)	追悼 榎文彦
7月8日(月)～8月10日(土)	研究者支援
7月11日(木)～8月13日(火)	宙の駅
7月19日(金)～8月31日(土)	夏休み特集
7月19日(金)～8月3日(土)	川崎×ワイン
8月3日(土)～9月2日(月)	キレイになる科学
8月10日(土)～9月9日(月)	鉄道ダイヤ・時刻表はどうなっているの？
8月13日(火)～9月17日(火)	宇宙47年の旅 探査機ボイジャー1号、2号
8月20日(火)～9月19日(木)	虫！虫！虫！
8月31日(土)～9月30日(月)	大人も楽しめる図鑑
9月2日(月)～10月8日(火)	いろいろな色の本
9月9日(月)～10月8日(火)	老化と寿命のサイエンス

9月13日(金)～2月12日(水)	【まなびや基金】展示「本でつなぐエール 司書が選んだ科学技術の本」(ものづくり入門コーナー)
9月17日(火)～10月15日(火)	女性と科学
9月19日(木)～10月28日(月)	イグ・ノーベル賞2024
9月30日(月)～11月7日(木)	東海道新幹線開業60周年
10月1日(火)～10月9日(水)	<講演会関連展示>おいしく食べる!冷凍&解凍のひみつ～暮らしに寄りそう冷凍技術～
10月8日(火)～11月25日(月)	ノーベル賞2024
10月11日(金)～展示中(※2)	SORA-Q Flagship Model (閲覧室入口)
10月15日(火)～11月21日(木)	令和6年度土木学会選奨土木遺産認定「相模大橋」
10月28日(月)～11月29日(金)	目で見て楽しむ。読んで理解する。デザインの世界
11月7日(木)～12月7日(土)	船
11月13日(水)～4月7日(月)	神奈川県資料室研究会からの寄贈図書の照会(低書架)
11月21日(木)～12月25日(水)	生物は技術の元祖!?
11月25日(月)～1月7日(火)	シリーズ本で読む -2024年、もっと知りたい!科学・ものづくり-
11月29日(金)～1月9日(木)	東京駅 開業から110周年
12月7日(土)～2月4日(火)	ユネスコ無形文化遺産登録「伝統的酒造り」
12月25日(水)～1月29日(水)	追悼 谷口吉生氏
1月6日(月)～2月7日(金)	阪神・淡路大震災から30年:地震と防災
1月7日(火)～2月24日(月)	今、知りたいドクターイエローと保線・点検の話
1月9日(木)～2月6日(木)	今年の干支へび
1月21日(火)～3月31日(日)	社史フェア2024(低書架)
1月29日(水)～3月4日(火)	商品開発物語
2月4日(火)～3月4日(火)	蛍光灯とLED
2月6日(木)～3月27日(木)	図書館で建物探訪
2月7日(金)～4月9日(水)	準天頂衛星「みちびき」
2月24日(金)～4月14日(月)	太古の世界
3月4日(火)～7月3日(木)	EXPO2025大阪・関西万博
3月27日(木)～4月26日(土)	アーベル賞

※1 テーマ欄に展示場所の記載がないものは、ミニ展示

※2 令和7年7月31日時点

ウ 社史コーナー展示

開催期間	テーマ等	回数
4月15日(月)～7月10日(水)	「すごい社史」展示	3回
7月12日(金)～3月31日(月)	「社楽」展示	9回

エ 社史フェア

開催期間	テーマ等	参加人数
12月4日(水) ～ 12月7日(土)	社史フェア2024 2023年刊行の社史200点を書誌と内容をまとめたパネルとともに業種分野別に展示。	延べ 143人

(2) 講演会等

ア ものづくりギャラリー展示関連講演会・イベント【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
10月5日(土) 14:00～15:30	おいしく食べる！冷凍&解凍のひみつ～暮らしに寄りそう冷凍技術～ 講師：鈴木 徹氏 (東京海洋大学名誉教授、一般社団法人食品冷凍技術推進機構代表理事)	15人

イ 社史編纂サポートセミナー【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
6月14日(金) 14:00～16:00	『東急100年史』ができるまで 講師：竹内 敏浩氏 (東急株式会社 社長室 広報グループ『東急100年史』編纂担当)	19人

ウ 大人の理科教室【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
10月26日(土) 10:30～12:00	ミニロケットを飛ばしてみよう！！ 講師：山田 喜代信氏、瀧本 憲一氏、廣瀬 忠一郎氏 (特非) NPO ブルーアース)	17人

エ 子ども科学実験室【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
8月3日(土) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	おもしろ理科教室 ①「バランストンボをつくろう」 ②「モーターはなぜ回る？家のモーターを探そう」	①15人 ②9人

	講師：三竿 郁夫 氏、松岡 成典 氏、瀧本 憲一 氏、 山田 喜代信 氏 ((特非) NPO ブルーアース) ※①小学1～3年、②小学4～6年	
--	---	--

オ ミニレクチャー【オンライン】

開催日時	テーマ等	参加人数
2月14日(金) 14:00～15:00	県立川崎図書館のデータベースを体験しよう「日経テレコン」の使い方 講師：小佐野 萌子 氏 (日経メディアマーケティング株式会社 カスタマーサクセス部)	13人

カ 図書館で学ぶ知的財産講座【会場開催】

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
9月27日(金) 14:00～14:55 15:05～16:00	【第1回】商標の基本・商標にまつわる問題点 [第一部]「商標の基本」 講師：渡辺 貴康 氏 (弁理士) [第二部]「商標にまつわる問題点」 講師：穂坂 道子 氏 (弁理士)	29人
12月24日(火) 14:00～14:55 15:05～16:00	【第2回】特許の基本・特許にまつわる問題点 [第一部]「特許の基本」 講師：木下 茂 氏 (弁理士) [第二部]「特許にまつわる問題点」 講師：安野 彰一 氏 (弁理士)	27人
1月24日(金) 14:00～14:55 15:05～16:00	【第3回】著作権の基本・著作権にまつわる問題点 [第一部]「著作権の基本」 講師：牧山 嘉道 氏 (弁護士・弁理士) [第二部]「著作権にまつわる問題点」 講師：高原 千鶴子 氏 (弁理士)	29人
2月28日(金) 14:00～16:05	【第4回】知財検討会－特許裁判例から何を学ぶか?－ 講師：保科 敏夫 氏 (弁理士)	13人
計		98人

キ 知財セミナー【ハイブリッド開催】

(主催：KISTEC 共催：(株)ケイエスピー、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
7月2日(火) 13:00~14:40	「ヘルスケア商品の開発におけるマーケティングとビジネスモデル」 講師：清水 美雪 氏 (株式会社メディカルラボパートナーズ 代表取締役) 「ヘルスケアデバイス分野における知財戦略」 講師：久野 栄造 氏 (IBC 一番町弁理士法人 弁理士)	85人 (会場 32人 オンライン 53人)

ク 神奈川県立川崎図書館 知的財産セミナー【オンライン】

(共催：INPIT 神奈川県知財総合支援窓口、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
7月9日(火) 13:30~15:00	神奈川県立川崎図書館 あなたの知らない知財の落とし穴 講師：竹市 博美 氏 (INPIT 知財戦略エキスパート)	38人

ケ 神奈川県立川崎図書館出前講座【会場開催】

(主催：高津区役所 会場：高津市民館)

開催日時	テーマ等	参加人数
11月9日(土) 10:00~12:00	IT とものづくり 講師：飯田 周作 氏 (専修大学ネットワーク情報学部長 ネットワーク情報学部 教授)	18人

※「高津区生涯学習支援事業」の一環として当館が協力

コ SORA-Q の関連イベント等【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
12月26日(木) 13:30~16:30	「SORA-Q」操作体験会<「SORA-Q」を動かしてみよう!> 講師：当館職員	24人
2月8日(土) 14:00~16:00	講演会「宇宙に飛び出す玩具メーカー タカラトミーは宇宙でも遊ぶ」 講師：赤木 謙介 氏 (株式会社タカラトミー メディア戦略室 D2C・CX 戦略部 部長)	31人

9 令和6年度 県立川崎図書館の活動評価

令和6年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下のとおりである。（小数点以下第2位を切り捨て）

- 達成（目標値 \geq 100%） ○
- ほぼ達成（目標値 \geq 80%） △
- 未達（目標値 $<$ 80%） ×

（1）社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①利用者満足度	98.6%	96.5%	97.8%	△
《課題・対応の方向》 ・「県立川崎図書館に関するアンケート」（10/29～11/4）から算出した「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比。 ・利用者に満足いただける図書館サービスの提供に努める。				
②入館者	100,000人	99,938人	99.9%	△
《課題・対応の方向》 ・来館利用の促進に繋がるような図書館運営に努める。				
③教育・普及事業への参加者	1,000人	846人	84.6%	△
《課題・対応の方向》 ・利用者ニーズを模索しながら、講座や展示の適切な実施に努める。				
④インターネットアクセス （両県立図書館共通）	1,270,000件	1,312,185件	103.3%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、ホームページにおいて魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新し、利用者の求める情報を的確に発信していく。				

【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤活用 （展示または各種メディア等で紹介した資料点数）	1,700点	2,161点	127.1%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、展示の適切な企画、実施に努めるとともに、ホームページ等での資料紹介等を適切に行う。				
⑥維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。	/	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に努める。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦研究成果の公開 (発表・印刷物等)	50件	10件	20.0%	×
《課題・対応の方向》 ・職員による文献執筆や研修講師などの研究成果の発表について、意義の理解を深め、適切な活動を促す。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	460件	396件	86.0%	△
《課題・対応の方向》 ・効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩施設点検 (誰もが等しく利用できる図書館を目指す)	図書館利用に障がいのある方に配慮する。	拡大読書器を増設するなど、図書館利用に障がいのある方に配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館利用に障がいのある方々が少しでも利用しやすくなるよう努める。				
⑪自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数 個別項目⑭参照)	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	研修や講座の参加延人数が、目標に達しなかった。		×
《課題・対応の方向》 ・職員が館内・館外の多様な研修やセミナー等を受講し、専門的能力を着実に養成するとともに、他図書館などの見学にも参加し、新しい知識やスキルを向上できるように努める。				

(2) 個別項目 (6区分14項目)

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	483件	412件	85.3%	△
《課題・対応の方向》 ・刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
②破損等資料の修理件数 (修理件数/破損等件数)	100.0%	100.0% (2,079件/ 2,079件)	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損等の棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール、 文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む))	4,300件	3,912件	90.9%	△
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努める。				
④貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	23,500件	22,237件	94.6%	△
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応するとともに、適切な利用促進に努める。				
⑤書庫内資料利用数 (書庫の資料を提供した件数)	35,000件	25,417件	72.6%	×
《課題・対応の方向》 ・書庫内資料の周知を図り、所蔵資料のデータ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、適切に提供できるよう努める。				
⑥複写枚数 (コイン式コピー、電子ジャーナル等の プリントアウト、郵送複写等)	100,000枚	89,197枚	89.1%	△
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料の周知を図り、データ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、適切に資料提供できるよう努める。				

【非来館型サービス】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦電子書籍の提供 (両県立図書館共通 電子書籍の閲覧件数)	4,500件	6,068件	134.8%	○
《課題・対応の方向》 ・県立図書館とともに、引き続き電子書籍の充実を図り、効果的な広報を実施するなど利用促進に努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数等)	570件	130件	22.8%	×
《課題・対応の方向》 ・県立図書館とともに、各県機関や県立学校図書館等に効果的な広報を実施し、利用促進に努める。				
⑨県内市町村図書館等への貸出冊数	6,900冊	5,738冊	83.1%	△
《課題・対応の方向》 ・県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩県外図書館等への貸出冊数	360冊	183件	50.8%	×
《課題・対応の方向》 ・魅力的なものづくり技術に関する資料や社史等の収集・整備を図り、さらに周知や適切な提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪テーマによる資料展示回数	90回	87回	96.6%	△
《課題・対応の方向》 ・当館所蔵資料を活用した展示について、「ものづくりギャラリー」を中心に、館内各所で適切に開催する。				
⑫視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	60件	43件	71.6%	×
《課題・対応の方向》 ・視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努めるとともに、関連機関等へ見学会などの実施を働きかける。				

⑬各団体・機関への広報実施件数 (産業団体や外部機関等へ出向くなど、川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数)	65件	53件	81.5%	△
《課題・対応の方向》 ・適切な手段による当館の案内や催事の周知などを図り、該当団体等の持つ広報手段を通じた効果的な広報を積極的に行うよう努める。				

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑭自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	390人	262人	67.1%	×
《課題・対応の方向》 ・館内・館外における多様な研修やセミナー、見学などへ職員が適切に参加できるよう努める。				

事業統計
(令和6年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	6年度当初 冊数	受 入						払 出	分類変更 配架変更	差 引 増 減	6 年 度 末 冊 数	分類別 比率(%)
		購入	寄 贈	管理換	編 入	その他	小 計					
0 総 記	12,348	113	8	0	0	0	121	5	22	138	12,486	4.8%
1 哲 学	238	3	0	0	0	0	3	0	0	3	241	0.1%
2 歴 史	5,433	9	1	0	0	0	10	52	9	-33	5,400	2.1%
3 社 会 学	11,923	32	15	0	0	0	47	19	20	48	11,971	4.6%
4 自 然 科 学	53,290	329	52	0	0	1	382	20	489	851	54,141	20.9%
5 技 術・工 学	118,673	358	158	0	0	1	517	352	452	617	119,290	46.1%
6 産 業	13,520	21	43	0	0	1	65	5	72	132	13,652	5.3%
7 芸 術・美 術	497	3	1	0	0	0	4	0	4	8	505	0.2%
8 言 語	393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	393	0.2%
9 文 学	2,004	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2,005	0.8%
社 史 等	21,942	3	405	0	0	0	408	0	2	410	22,352	8.6%
規 格	7,307	131	96	0	0	0	227	0	3	230	7,537	2.9%
児 童 書	9,949	0	0	0	0	0	0	72	-1,073	-1,145	8,804	3.4%
合 計	257,517	1,003	779	0	0	3	1,785	525	0	1,260	258,777	100.0%
洋 書	(6,417)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(-1)	(-3)	(6,414)	(2.5%)

※洋書は()に内数で記入

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 雑 誌

5年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	6年度末タイトル数	うち継続収集		
					購 入	寄贈(会費 負担)	寄 贈
8,060	7	4	3	8,063	311	74	690
(2,192)	(0)	(0)	(0)	(2,192)	(2)	(0)	(41)

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 新 聞

5年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	6年度末タイトル数	うち継続収集	
					購 入	寄 贈
33	0	0	0	33	6	21

第3表 その他資料の保有状況

ア. 視 聴 覚 資 料

区 分	5年度末数	受 入					払 出	6年度末数
		購入	寄贈	管理換	その他	計		
個 人 貸 出 用	229	0	0	0	0	0	229	
団 体 貸 出 用	357	5	0	0	1	6	362	
合 計	586	5	0	0	1	6	591	

イ. C D - R O M

区 分	5年度末数	受 入	払 出	6年度末数
規 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科 学 技 術 文 献 速 報	12	0	0	12
計	49	0	0	49

ウ. マ イ ク ロ フ ィ ル ム

5年度末数	受 入	払 出	6年度末数
467	0	467	0

第4表 電子書籍・電子ジャーナル等の提供状況

区 分	提供タイトル数
電 子 書 籍	275
電 子 ジャ ー ナ ル 等	22

※電子書籍のタイトル数は両県立図書館で共通

第5表 開館日数・入館者数

区分	6年			7年			7年			合計			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
開館日数	19	26	24	26	26	24	26	25	23	22	23	25	289
入館者数	5,859	9,002	8,042	9,604	9,667	7,862	8,899	9,083	8,059	8,167	8,747	6,947	99,938
1日平均	308	346	335	369	372	328	342	363	350	371	380	278	346
前年度入館者数	5,265	8,287	7,687	8,973	10,096	10,529	8,253	7,907	7,506	7,514	9,060	8,616	99,693
前年度1日平均	293	319	308	359	388	421	330	316	326	342	378	345	345

第6表 レファレンス件数

ア. 館内レファレンス

区分	6年			7年			7年			合計	比率(%)				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月	2月	3月	
質問件数	269	319	324	325	326	298	350	332	315	278	346	338	3,820	100%	
1日平均 (開館日)	14.2	12.3	13.5	12.5	12.5	12.4	13.5	13.3	13.7	12.6	15.0	13.5	13.2	-	
分野別	自然科学	8	7	11	7	2	3	2	4	4	5	3	4	60	1.6%
	工学・産業	39	23	28	36	31	26	41	26	21	17	22	12	322	8.4%
	社会・人文科学	6	14	22	12	9	12	6	14	10	8	17	5	135	3.5%
	社史	9	6	19	14	12	8	14	11	14	14	18	5	144	3.8%
	利用ガイド	203	266	237	253	270	246	285	274	263	231	281	308	3,117	81.6%
	ビジネス	4	3	7	3	2	3	2	3	3	3	5	4	42	1.1%
方法別	口頭	175	227	220	226	226	232	256	239	234	174	244	269	2,722	71.3%
	電話	85	77	96	76	90	59	80	84	65	98	90	59	959	25.1%
	文書	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
	メール	9	15	8	23	10	6	14	9	16	6	12	10	138	3.6%
前年度件数	243	357	356	407	382	440	311	322	330	319	322	311	4,100	-	
前年度1日平均	13.5	13.7	14.2	16.3	14.7	17.6	12.4	12.9	14.3	14.5	13.4	12.4	14.2	-	

イ. 協カレファレンス

区分	6年			7年			7年			合計	比率(%)				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月	2月	3月	
質問件数	13	5	8	8	7	9	7	3	6	9	9	8	92	100%	
1日平均 (開館日)	0.7	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	-	
分野別	自然科学	0	2	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	8	8.7%
	工学・産業	4	1	6	4	0	3	3	2	2	2	7	2	36	39.1%
	社会・人文科学	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	3.3%
	社史	3	1	0	0	2	1	2	0	3	0	1	2	15	16.3%
	利用ガイド	6	1	2	1	3	2	2	1	1	6	1	3	29	31.5%
	ビジネス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.1%
方法別	口頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	電話	10	1	4	4	5	7	4	1	4	8	7	6	61	66.3%
	文書	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2.2%
	メール	3	4	4	2	2	2	3	2	2	1	2	2	29	31.5%
前年度件数	9	26	5	7	3	8	13	10	8	6	7	7	109	-	
前年度1日平均	0.5	1.0	0.2	0.3	0.1	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	-	

ウ. レファレンス総数

区分	6年			7年			7年			合計			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
総数	282	324	332	333	333	307	357	335	321	287	355	346	3,912
1日平均 (開館日)	14.8	12.5	13.8	12.8	12.8	12.8	13.7	13.4	14.0	13.0	15.4	13.8	13.5
内館内レファレンス	269	319	324	325	326	298	350	332	315	278	346	338	3,820
協カレファレンス	13	5	8	8	7	9	7	3	6	9	9	8	92

第7表 書庫内資料の利用数

ア. K S P 書庫

区 分	月 別			年 別									合 計	
	6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	7 1	2	3		
総 数	1,403	2,136	2,083	1,846	1,433	1,639	1,802	2,079	2,129	1,659	1,869	1,813	21,891	
1 (日 平 均 開 館 日)	73.8	82.2	86.8	71.0	55.1	68.3	69.3	83.2	92.6	75.4	81.3	72.5	75.7	
内 訳	図 書	18	38	29	40	15	26	37	36	22	50	33	15	359
	雑 誌	1,064	1,220	1,654	1,339	1,157	1,282	1,441	1,715	1,812	1,305	1,570	1,479	17,038
	外 国 語 雑 誌	(20)	(32)	(6)	(66)	(25)	(31)	(13)	(5)	(19)	(17)	(7)	(23)	(264)
	新 聞	99	630	201	195	56	59	107	82	69	65	67	81	1,711
	付 録 電 子 媒 体 等	222	248	199	272	205	272	217	246	226	239	199	238	2,783
前 年 度 総 数	1,516	1,984	1,928	2,479	2,920	1,977	1,832	2,194	1,376	1,404	1,924	1,951	23,485	

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 相模原書庫

区 分	月 別			年 別									合 計
	6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	7 1	2	3	
取 寄 冊 数	264	305	215	243	214	253	305	260	269	264	279	293	3,164
1 (日 平 均 開 館 日)	13.9	11.7	9.0	9.3	8.2	10.5	11.7	10.4	11.7	12.0	12.1	11.7	10.9
前 年 度 総 数	305	332	348	380	363	309	325	262	265	306	339	254	3,788

ウ. 野庭収蔵庫

区 分	月 別			年 別									合 計	
	6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	7 1	2	3		
取 寄 冊 数	42	18	21	22	15	69	29	38	17	16	25	50	362	
内 訳	外 国 語 雑 誌	30	5	7	10	2	55	13	7	8	2	4	33	176
	和 雑 誌	0	0	1	0	0	2	2	4	0	2	0	1	12
	図 書	12	13	13	12	13	12	14	27	9	12	21	16	174
複 写 枚 数	5	69	29	34	13	107	278	23	33	21	28	19	659	
内 訳	外 国 語 雑 誌	5	16	24	34	13	102	263	23	18	20	18	17	553
	和 雑 誌	0	0	3	0	0	5	10	0	11	1	2	2	34
	図 書	0	53	2	0	0	0	5	0	4	0	8	0	72
前 年 度	取 寄 冊 数	36	46	38	63	42	31	36	34	43	36	16	24	445
	複 写 枚 数	34	4	6	10	130	35	48	41	2	10	15	18	353

エ. 総 数

区 分	月 別			年 別									合 計
	6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	7 1	2	3	
冊 数	1,709	2,459	2,319	2,111	1,662	1,961	2,136	2,377	2,415	1,939	2,173	2,156	25,417

第8表 電子書籍、電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 電子書籍閲覧件数

区分	6年			7年			合計	前年度末						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月								
閲覧件数	348	563	365	440	452	326	437	682	644	568	607	636	6,068	4,209

※電子書籍サービスは令和4年6月から開始

イ. 電子ジャーナル・データベース利用人数等

区分	6年			7年			合計	前年度末							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月									
国内学会誌	利用人数	54	71	52	61	56	49	50	43	49	44	47	38	614	629
	複写枚数	356	447	418	599	439	330	390	378	305	371	395	233	4,661	4,361
Taylor & Francis	利用人数	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	7	5
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14	33
J DreamⅢ	利用人数	4	7	2	3	8	12	7	8	7	1	9	5	73	53
	複写枚数	125	11	0	38	125	73	97	149	102	6	113	69	908	874
CiNii	利用人数	23	30	26	25	23	23	29	23	25	18	23	22	290	272
	複写枚数	5	5	0	8	9	0	64	0	0	0	5	1	97	57
JP-NET	利用人数	2	2	1	1	0	3	0	2	5	1	0	0	17	10
	複写枚数	0	0	0	1	0	2	0	0	69	0	0	0	72	17
J-PlatPat	利用人数	1	2	3	2	0	1	1	1	4	3	0	2	20	15
	複写枚数	0	0	112	24	0	0	21	0	66	61	0	39	323	605
日経テレコン21	利用人数	3	5	3	3	2	4	6	3	2	1	5	1	38	35
	複写枚数	3	4	0	3	16	1	24	0	18	5	16	0	90	98
国会デジタル	利用人数	1	0	1	1	0	2	2	3	2	1	5	0	18	15
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
その他	利用人数	25	29	28	26	26	20	28	28	22	23	28	19	302	253
	複写枚数	23	91	124	46	97	119	21	154	3	149	17	17	861	342
合計	利用人数	113	148	116	122	115	114	125	111	118	92	117	88	1,379	1,287
	複写枚数	512	558	654	719	686	525	617	681	577	592	546	359	7,026	6,430

※国内学会誌…化学工学会論文集、日本機械学会の刊行物、土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌、電子情報通信学会技術研究報告
 情報処理学会研究報告／論文誌、エネルギー・資源、品質、表面科学(表面と真空)、熱処理、日本金属学会講演概要集、地盤工学会誌
 溶接学会誌(全国大会講演概要集含む)、自動車技術会学術講演会講演予稿集

第9表 個人貸出登録者数

区分	5年度末	登録削除数	6年			7年			合計	6年度末						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月								
登録者数	5,534	822	89	99	89	90	93	71	81	85	77	63	53	70	960	5,672

第10表 個人貸出冊数

月別 区分	6年			7年			8年			9年			10年			11年			12年			7 1 年 月	2 月	3 月	合 計	分類別 比率(%)	前年度 貸出冊数
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月						
貸出冊数	1,445	1,869	1,650	1,843	1,805	1,627	1,828	1,657	1,759	1,419	1,640	1,589	20,131	100%	20,163												
1日平均 (開館日)	76.1	71.9	68.8	70.9	69.4	67.8	70.3	66.3	76.5	64.5	71.3	63.6	69.7	-	69.8												
内 部 門 別	一般図書	1,409	1,821	1,560	1,759	1,765	1,495	1,766	1,561	1,677	1,356	1,569	1,541	19,279	95.8%	19,366											
	0 総記	154	158	170	156	175	137	220	146	168	183	223	145	2,035	10.1%	1,960											
	1 哲学	38	53	30	50	46	54	46	39	42	42	52	46	538	2.7%	511											
	2 歴史	64	78	43	57	55	54	50	37	49	48	56	59	650	3.2%	646											
	3 社会科学	86	149	100	106	105	80	143	97	160	122	102	135	1,385	6.9%	1,406											
	4 自然科学	324	421	398	468	524	396	515	408	431	332	417	478	5,112	25.4%	5,406											
	5 技術・工学	534	676	555	618	589	551	569	584	613	453	542	464	6,748	33.5%	6,834											
	6 産業	34	52	56	42	38	50	35	46	45	47	31	56	532	2.7%	546											
	7 芸術・美術	80	120	119	140	120	75	88	93	70	46	50	73	1,074	5.3%	1,090											
	8 言語	7	3	17	11	8	5	7	17	18	12	13	5	123	0.6%	79											
9 文学	88	111	72	111	105	93	93	94	81	71	83	80	1,082	5.4%	888												
社史等	36	48	90	84	40	132	62	96	82	63	71	48	852	4.2%	797												
前年度貸出冊数	1,442	1,768	1,645	1,647	1,766	1,761	1,624	1,731	1,581	1,707	1,560	1,931	20,163	-	-												
前年度1日平均	80.1	68.0	65.8	65.9	67.9	70.4	65.0	69.2	68.7	77.6	65.0	77.2	69.8	-	-												

第11表 リクエストサービス

月別 区分	6年			7年			8年			9年			10年			11年			12年			7 1 年 月	2 月	3 月	合 計	比率(%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月					
総数	565	873	626	629	681	637	691	671	737	590	703	656	8,059	100%												
分野別	自然科学	92	108	76	91	99	99	116	88	101	78	122	107	1,177	14.6%											
	工学・産業	178	288	208	174	225	190	208	195	230	184	235	186	2,501	31.0%											
	社会・人文科学	295	464	335	358	351	334	357	384	401	322	332	356	4,289	53.2%											
	社史等	0	13	7	6	6	14	10	4	5	6	14	7	92	1.2%											
処理 別	返却待	214	301	194	186	220	211	279	228	264	219	263	229	2,808	34.8%											
	購入	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	4	0.1%											
	他館から借受	308	500	361	380	382	354	365	356	409	337	378	357	4,487	55.7%											
	(県立)	(293)	(444)	(311)	(342)	(340)	(301)	(326)	(305)	(379)	(316)	(344)	(318)	(4,019)	(49.9%)											
	(市町村)	(13)	(49)	(45)	(32)	(41)	(35)	(31)	(40)	(27)	(15)	(31)	(36)	(395)	(4.9%)											
	(県内機関その他)	(1)	(5)	(4)	(3)	(1)	(6)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(24)	(0.3%)											
	(県外)	(1)	(2)	(1)	(3)	(0)	(12)	(7)	(10)	(3)	(5)	(3)	(2)	(49)	(0.6%)											
取消等	43	72	71	63	78	72	47	84	64	34	62	70	760	9.4%												
前年度総数	601	643	560	511	630	604	643	690	699	642	683	700	7,606	-												

※()は内数

第12表 複写サービス

区分	月別	7年												合計	比率(%)	
		6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総	人数	169	228	223	222	193	176	246	223	241	180	205	200	2,506	100%	
	枚数	5,920	7,179	7,839	7,401	6,889	6,810	8,326	8,221	8,633	6,965	7,692	7,322	89,197	100%	
1日平均 (開館日)	人数	8.9	8.8	9.3	8.5	7.4	7.3	9.5	8.9	10.5	8.2	8.9	8.0	8.7	-	
	枚数	311.6	276.1	326.6	284.7	265.0	283.8	320.2	328.8	375.3	316.6	334.4	292.9	308.6	-	
内 訳	コピー	人数	117	149	157	143	127	118	174	157	183	125	142	144	1,736	69.3%
		枚数	4,821	6,076	6,723	5,990	5,680	5,775	7,291	6,924	7,536	5,837	6,658	6,468	75,779	84.9%
	データベース等	人数	44	59	48	63	53	48	59	54	46	43	44	48	609	24.3%
		枚数	956	927	972	1,228	1,059	923	945	1,145	935	927	824	725	11,566	13.0%
	国 際 デ ジ タ ル	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	郵 送	人数	8	20	18	16	13	10	13	12	12	12	19	8	161	6.4%
		枚数	143	176	144	183	150	112	90	152	162	201	210	129	1,852	2.1%
	前年度総数	人数	172	250	218	210	221	222	202	212	214	182	203	216	2,522	-
		枚数	6,394	8,751	7,380	7,503	7,961	6,879	7,070	7,226	7,255	7,193	7,830	6,689	88,131	-

※データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第13表 講習会・講座・講演会等

区分	月別	7年												合計
		6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開催回数		0	0	1	2	1	2	2	1	3	1	3	0	16
参加人数		0	0	19	123	24	314	32	18	194	29	57	0	810
前年度	実施回数	0	1	2	5	2	2	1	3	2	3	2	1	24
	参加人数	0	10	56	48	72	11	20	288	206	52	67	7	837

※参加人数は保護者を含めた数字

第14表 知的財産関連等相談

ア. 知財総合支援相談

区分	月別												合計	
	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月		
開催回数	1	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	11	
実施回数	1	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	11	
利用者数	2	1	1	1	1	0	1	0	2	2	2	1	14	
相談件数	2	1	1	1	1	0	1	0	2	2	2	1	14	
内訳	特許・実用新案	1	0	1	1	1	0	1	0	2	2	1	1	11
	意匠・商標	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	分類・調査・制度他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
前年度開催数	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	1	12	
前年度実施回数	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	1	12	
前年度利用者数	1	1	3	1	1	0	0	1	1	3	3	1	16	
前年度相談件数	1	1	3	1	1	0	0	1	1	3	3	1	16	

※実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

イ. 創業・経営相談

区分	月別												合計
	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	
開催回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
実施回数	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	11
利用者数	2	2	1	1	1	2	1	0	0	0	0	2	14
相談件数	2	2	1	1	1	2	1	0	0	0	0	2	14
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
前年度実施回数	1	0	1	2	1	0	2	1	0	1	0	0	9
前年度利用者数	1	0	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	10
前年度相談件数	1	0	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	10

ウ. 知的財産相談

区分	月別												合計	
	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月		
開催回数	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	7	
実施回数	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	7	
利用者数	0	2	0	1	0	0	0	2	0	1	1	1	8	
相談件数	0	2	0	1	0	0	0	2	0	1	1	1	8	
内訳	特許・実用新案	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	6
	意匠・商標	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	分類・調査・制度他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
前年度実施回数	0	0	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	7	
前年度利用者数	0	0	3	5	1	3	1	0	0	0	0	0	13	
前年度相談件数	0	0	3	4	1	2	1	0	0	0	0	0	11	

第15表 視聴覚資料の貸出状況

ア.個人

区分	月別												7 1 年 月	2 月	3 月	合計
	6 4 年 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月							
科学技術ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立図書館所蔵資料	136	194	183	193	168	199	176	160	183	184	180	150	2,106			
計	136	194	183	193	168	199	176	160	183	184	180	150	2,106			
前年度総数	121	172	2	1	0	0	80	129	174	162	152	188	1,181			

イ.団体

区分	5年 度末	期限 切れ	月別												7 1 年 月	2 月	3 月	年度 合計	6年度末
			6 4 年 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月								
登録者	61	36	3	2	3	2	1	0	3	1	1	0	2	2	20	45			

区分	6年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		7年1月		2月		3月		合計	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
ビデオ	7	3	9	3	10	0	8	3	4	0	6	0	10	0	10	0	4	0	2	0	4	0	5	0	79	9
DVD	16	16	23	23	31	31	22	22	8	8	17	17	35	35	26	26	14	14	8	8	12	12	16	16	228	228
上映回数	30		52		80		65		14		23		116		46		20		16		12		16		490	
参加人数	621		784		1,136		975		201		418		3,641		791		745		500		491		366		10,669	
ビデオ	7	1	4	0	11	4	14	2	6	4	7	2	12	1	5	0	4	1	5	0	8	2	2	0	85	17
DVD	24	24	13	13	24	24	40	40	18	18	21	21	34	34	19	19	10	10	11	11	24	24	6	6	244	244
上映回数	42		27		75		148		25		55		103		24		21		14		46		26		606	
参加人数	976		232		1,939		2,374		850		1,800		1,982		409		222		274		587		66		11,711	

第16表 他の図書館等への貸出状況

区分	月別												7 1 年 月	2 月	3 月	合計
	6 4 年 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月							
公共図書館	294	328	248	273	291	281	311	294	279	293	316	325	3,533			
県立図書館	148	183	149	155	163	155	160	147	143	156	158	163	1,880			
市町村立図書館等	127	129	89	104	117	113	138	132	128	125	130	142	1,474			
県外の図書館	19	16	10	14	11	13	13	15	8	12	28	20	179			
横浜西口カウンター	182	252	190	174	182	180	220	173	180	197	183	191	2,304			
企業ライブラリー等	4	7	3	9	9	10	4	0	0	0	1	0	47			
高校連携	5	2	4	0	2	10	10	2	3	7	10	5	60			
大学	2	4	1	5	2	7	0	4	2	1	4	1	33			
行政支援	1	0	0	1	4	2	3	9	0	1	0	0	21			
NACSIS-ILL	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4			
前年度貸出冊数	509	647	666	623	622	550	552	527	534	575	579	492	6,876			

第17表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	—
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819
令和 元 年度	260,103	△ 553
2	261,447	1,344
3	259,076	△ 2,371
4	260,753	1,677
5	257,517	△ 3,236
6	258,777	1,260

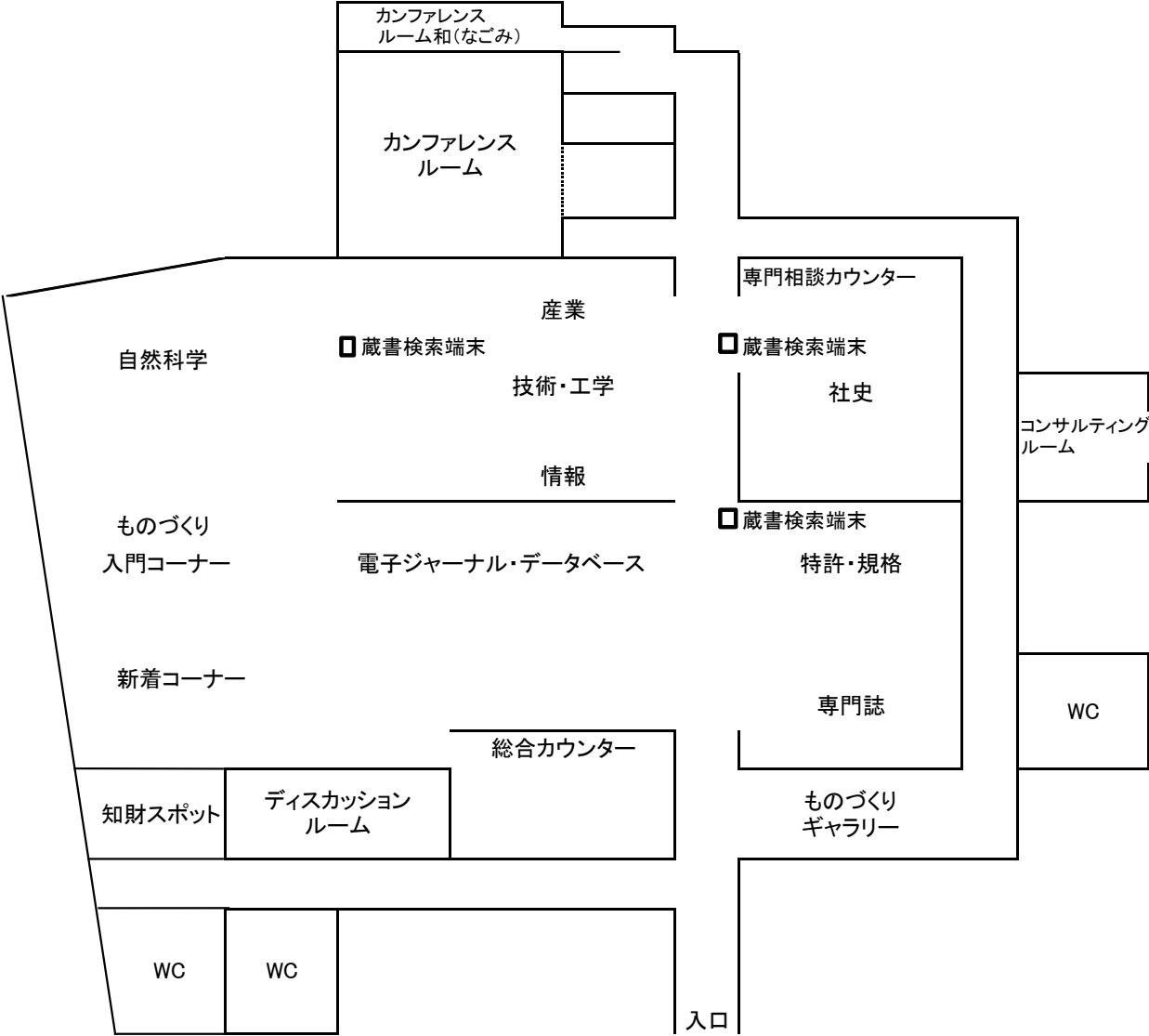
第18表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	—
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 (134)	139,462 (27,648)	103,860 (36,670)
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	# 36,921
28	295	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461
令和 元 年度	290	83,244	25,344
2	257	51,845	22,018
3	295	70,416	23,821
4	289	78,012	20,110
5	289	99,693	20,163
6	289	99,938	20,131

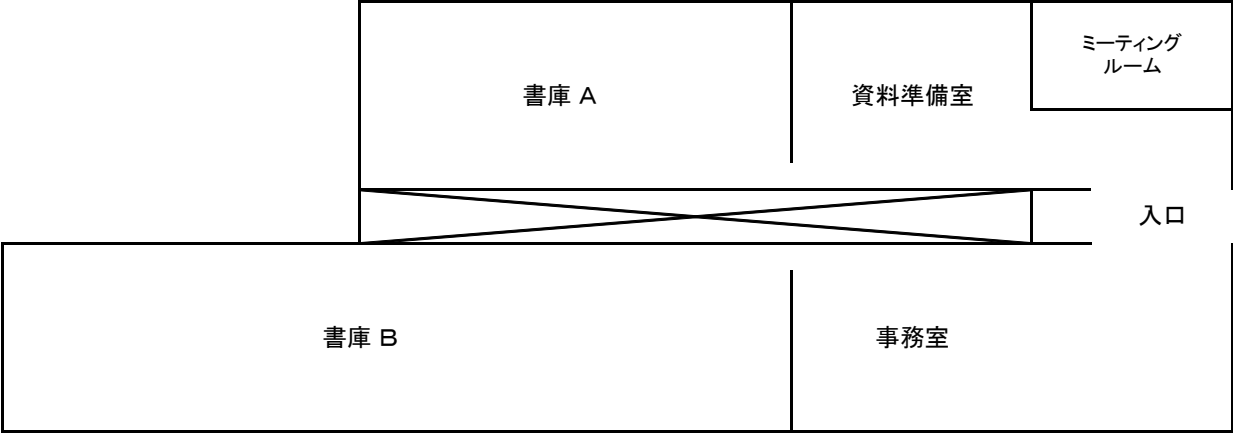
- ・ 昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は()内に内数で記入
- ・ 平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館
- ・ 平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館
- ・ 平成30年度は、KSPにおける開館準備のため5月中旬まで休館
- ・ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため3月4日から一部サービス休止
- ・ 令和2年度は、特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ、4月12日から5月26日の間臨時休館

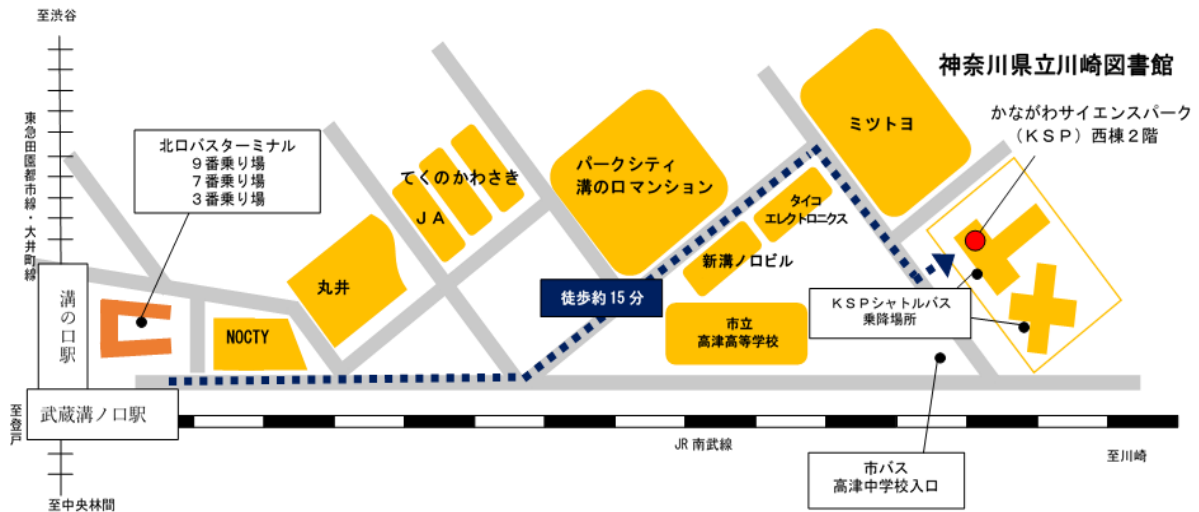
館内案内図

○図書館(西棟2階)



○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス（平日：午前10時以降、土祝休日：始発から）

- 溝の口駅 北口バスターミナル9番乗り場から
「KSP行き」（直通）約5分

②市営バス

- 溝の口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から
 - ・ 溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統
- 溝の口駅前 北口バスターミナル3番乗り場から
 - ・ 溝05系統

いずれも「高津中学校入口」下車徒歩1分

令和7年度

神奈川県立川崎図書館要覧

令和7年8月発行

編集・発行 神奈川県立川崎図書館
館長 清水 明
川崎市高津区坂戸3丁目2番1号
電話 (044) 299 - 7825 (代表)
FAX (044) 322 - 8878



神奈川県

神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話(044)299-7825(代表)